

Q：AL Tの先生との授業中の関わり方がよく分かりません。どのようにしたらよいのでしょうか。

(AL Tの先生の雇用形態がT Tという形態が可能な場合のアドバイスとなります。)

A：学級担任とAL Tの先生の役割分担を明確にしましょう。

まず、前提として学級担任がT 1であり、AL TがT 2であるということを認識し、役割分担を確立することが大切です。英語が不得意とお考えの先生は、ついAL Tの先生にすべてを任せてしまいがちです。しかし、日頃から子どもたちと接し、子どもたちの性格、学習進捗や内容、生活環境などをよく理解している学級担任が授業の中心となり、主体性を発揮して授業をすることが大切です。その最大の理由は子どもたちにとってそのことが大きな安心感や開放感につながるからです。

アドバイス

学級担任の役割を確立しましょう。

①学級担任T 1は授業の進行役になりましょう。

授業の進行はT 1が指示を出し、授業の中身をAL TやJ T Eに補助してもらったり、また活動内容によってはまかせることもよいでしょう。指示を出すときには必ず教室の正面に立って行き、授業を積極的に運営している姿をみせるようにしましょう。

②特に授業の始まりと終わりはいつもT 1が指示をしましょう。

第1声をT 1が明るく積極的に取り組む姿が、良いモデルとなります。

③子どもたちと一緒に活動しましょう。

一緒に活動することで、子どもたちが楽しめているか、理解しているかなどの様子を把握します。もし難しい時には、AL Tにやさしく言い直してもらったり、ジェスチャーや絵を利用したり、モデルを見せたりします。その際、AL Tへの指示する英語が分からないときは、日本語でも、身振り手振りでもよいので、迷わず指示を出しましょう。

④タイムキーパーになりましょう。

AL Tの活動が長引きそうな時など、「あと何分だよ。」とAL Tや子どもたちに声をかけるようにして、主導権を握っていきましょう。

⑤子どもの代役を演じましょう。

T 1は、本時のポイントとなる部分や子どもたちが理解しにくそうな部分などをわざと強調したり、AL Tにわざと質問をしたりすることで、子どもたちに活動を理解しやすくしてあげましょう。

⑥ほめましょう。

最後に教室の正面に立ち、本時の活動についてT 1、T 2それぞれからの評価をしましょう。ほめることを中心に評価をおこなうことが、次時からの子どものやる気とT 1、T 2への信頼につながっていくことでしょう。